

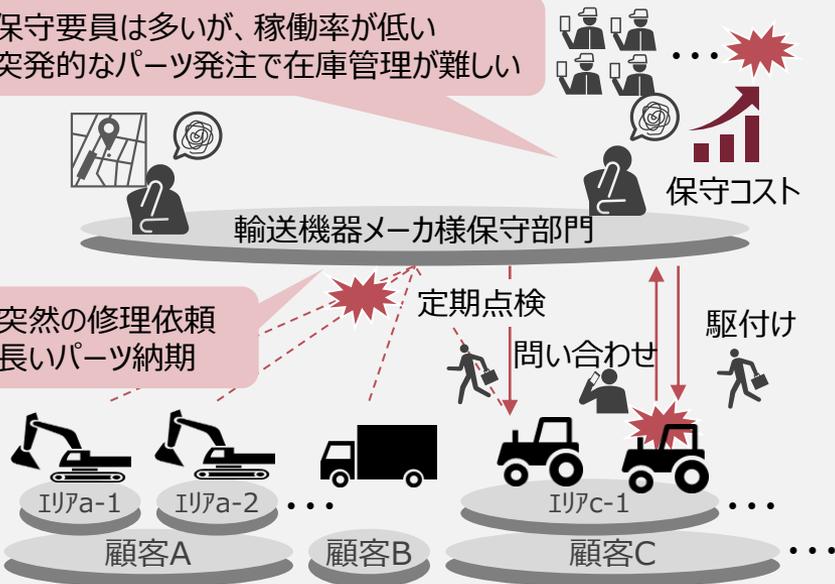
お客様の製品稼働データを、収集・蓄積する仕組みを構築し**保守業務の効率化**を実現
稼働状況に基づく保守業務の運用(要員最適化、パーツマネジメント)で**新しい付加価値創出**

As-Is (導入前)

生産性・効率性の低い保守サービス

- ・ エンドユーザ様からのお問い合わせベースの保守業務により、要員の稼働率にバラつきがある
- ・ 突発的なパーツ発注により納期管理が難しく、エンドユーザ様からのクレームにつながる

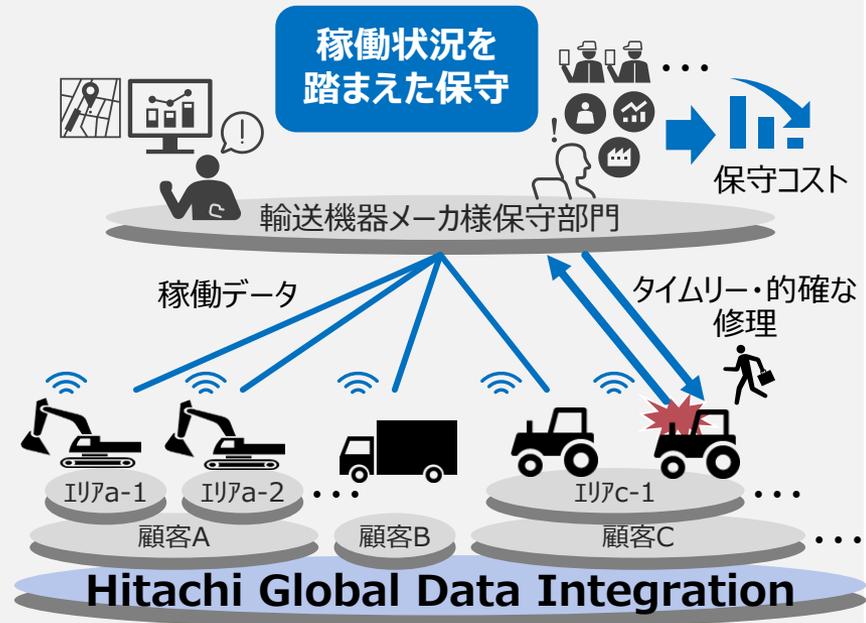
- ・ 保守要員は多いが、稼働率が低い
- ・ 突発的なパーツ発注で在庫管理が難しい



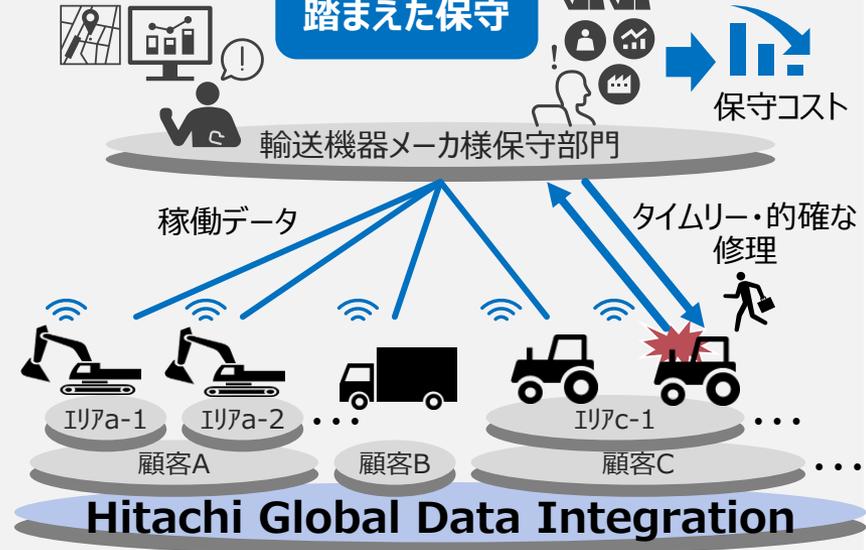
To-Be (導入後)

稼働状況ベースの保守サービス

出荷したすべての機器の稼働データを収集し、稼働状況を見る化・遠隔監視。タイムリー且つ的確な修理の実施と、要員最適化、パーツマネジメントの両立を実現。



稼働状況を
踏まえた保守



Hitachi Global Data Integration